令和８年度第１回滝沢市総合計画審議会　会議録

（令和８年７月２２日（水）１０時００分～１２時００分）
（滝沢市役所２階　２０１・２０２会議室）

【開会】企画政策課長

定刻となりましたので、ただいまから令和８年度第１回滝沢市総合計画審議会を開会いたします。

本日の出席委員は２０人中１６人であり、過半数を満たしております。よって、滝沢市総合計画審議会条例第５条第２項の規定により、会議が成立することを御報告いたします。

また、本日の審議会につきましては、正確な議事録を作成するためすべての発言を録音させていただきます。発言の際は挙手の上、マイクを御使用くださいますようお願いいたします。

それでは、審議会の開会にあたりまして、滝沢市長武田哲より御挨拶を申し上げます。

【挨拶】市長

本日は公私ともにお忙しいところ、令和８年度第１回滝沢市総合計画審議会に御参加を賜り、心より感謝申し上げます。また、委員をお引き受けいただきましたことに、重ねて感謝申し上げます。

前回から引き続き委員をお引き受けいただいた皆様には、これまでの御経験に基づいた御意見を賜れればと思っております。また、新たに委員となられた皆様、特に今回公募により委員をお引き受けいただいた現役世代の皆様には、日頃地域で感じていることや課題など、率直な御意見をお聞かせいただきたいと考えております。

本日頂戴する御意見は、これからの滝沢市のまちづくりにおいて大変重要な視点・観点となります。ぜひ忌憚のない御意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【委員紹介】企画政策課長

それでは、今期の委員の皆様を御紹介いたします。お手元の名簿順にお名前をお呼びいたしますので、着座のまま御対応いただければと存じます。

～名簿に基づき、委員紹介～

続きまして、市側の出席者を御紹介いたします。

～市側出席者の紹介～

【委嘱状交付】企画政策課長

次に、委嘱状の交付を行います。

本来であれば、皆様お一人おひとりに直接委嘱状を交付すべきところではございますが、会議時間の都合上、代表の方に受領をいただき、その他の皆様には机上への配付をもって

委嘱状の交付に代えさせていただきますので御了承ください。
それでは代表の方は、市長の前までお進みをお願いいたします。

～市長より代表者に委嘱状の交付～

【審議会概要】企画政策課長
ありがとうございました。
それでは次に、新任の委員の方もおられますので、総合計画審議会の概要を御説明いたします。
本審議会は、市の総合的な計画の策定や行政改革の推進に関する重要事項について調査審議するための、市長の諮問機関として条例に基づき設置されているものでございます。
委員の皆様には、それぞれの立場からの知見や御経験を生かしていただくとともに、個別事業や特定分野にとどまらず、市全体の将来を見据えた幅広い視野と公平な立場から御意見を賜りたいと考えております。
審議内容といたしましては、第２次滝沢市総合計画（令和６年度～令和１３年度の８年間）における前期・後期の基本計画（７部門、５つの重要な視点）や市内１１地域の地域別計画の進捗状況、関連する分野別計画等について御審議いただくものでございます。

【会長選出】企画政策課長
続きまして、審議会条例に基づき会長の互選を行います。選任方法について御意見はございますか。

～「事務局一任」の声～

ありがとうございます。それでは事務局案を御提案させていただきます。これまでも会長を務めていただき、第２次総合計画の内容等を熟知されております、岩手大学の丸山仁様にお願いしたいと考えておりますが、御異議ございませんでしょうか。

～「異議なし」の声～

御異議がないようですので、丸山様に会長をお願いいたします。丸山会長、会長席へお進みください。今後の進行につきましては丸山会長にお願いいたします。

【挨拶】会長
岩手大学の丸山です。大学では政治学を担当しております。本審議会とは滝沢村時代からの長いお付き合いになります。御指名もいただきましたので、会長として頑張らせていただきます。皆様の御協力をお願いいたします。

【副会長選出】会長

続きまして副会長の互選を行います。選考方法について御意見はございますか。

～「会長一任」の声～

ありがとうございます。私といたしましては、同じくこれまでの審議に参加され、総合計画の内容も熟知されておられます岩手県立大学の日野原委員にお願いしたいと考えております。皆様よろしいでしょうか。

～「異議なし」の声～

それでは、副会長につきましては日野原委員にお願いいたします。

【進行】会長

それでは早速議事に入ります。本日の議題は２件で、１件目が「令和８年度市長方針及び各政策方針について」、２件目が「総合計画後期基本計画策定等にかかる取組について」です。

まず１つ目の議事「令和８年度市長方針及び各政策方針について」、事務局から説明をお願いします。

【説明】企画政策課長

それでは１つ目の議事について御説明いたします。皆様お手元の資料１と資料２を御準備ください。令和８年度市長方針につきましては市長より資料１に基づき、御説明いたします。

なお、令和８年度各政策方針につきましては、事前に資料を配布し内容を御確認いただいておりますので、御審議の時間を確保するため説明を割愛させていただきます。それでは市長よろしくお願いいたします。

【説明】市長

資料１に基づき令和８年度の市長方針を御説明いたします。

自治体を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、物価高騰など様々な影響が生じております。特に出生数の減少と若い世代の市外転出は、本市の地域コミュニティや市民サービスに大きな影響を及ぼす課題と捉えております。

このような状況を踏まえ、第２次滝沢市総合計画前期基本計画の３年目にあたる令和８年度は、これまでにみえてきた課題への対応や、計画に掲げた「市民主体の地域づくり活動への支援」と「市民生活基盤の堅持」の実現に向け、限られた財源と人的資源を効果的に活用し、市民がまちの変化を実感できる成果へ結びつけていく重要な年になると考えております。

そこで、次の３点を重視して市政運営に取り組みます。

１点目は「市民との対話と住民自治の深化」です。市民主体の地域づくりを実現するため、市民の皆様との繋がりを深めることが最も重要です。タウンミーティングや「たきざわ自分ごと化会議」など新たな広聴・市民参画の取組を推進するとともに、地域課題を市民と共に考え解決できる取組を進めてまいります。

２点目は「持続可能で信頼される行政経営の推進」です。市民生活の基盤を持続的に提供するため、中期財政見通しの精度向上や事業の厳選を行い、財源・人的資源を戦略的に活用します。また、職員自らが誇りとやりがいを持って行動する組織風土を醸成し、組織のあり方についても検討してまいります。

３点目は「未来へつなぐ活力ある地域づくりの加速」です。人口減少社会においても選ばれ住み続けられる市であるため、子育て世代への支援、若者の雇用機会創出、集いの場の創出、産業振興などに継続して取り組みます。市民と膝を突き合わせた対話を重ね、これからの地域振興について全市的に考える取組を進めてまいります。

説明は以上となります。

【進行】会長

ありがとうございました。それでは本議題について御質問、御意見のある委員の方は挙手をお願いします。

【意見・質問】委員

方針の３点目「未来へつなぐ活力ある地域づくり」の中にある子育て世代への支援に関連して質問いたします。

先日、学童保育の連絡協議会の方とお話しする機会があり、現在学童保育が定員オーバーの状態で、現場の指導員や保護者が大変苦労され、今後の預け先について不安を抱えているという実態を伺いました。

地域には、午後になると空いている集会所などの施設が多数あります。スクールガード等で地域に関わっている高齢者なども含め、こうした地域の既存施設や人材を活用して、子供たちの放課後の居場所を提供することはできないでしょうか。

【回答】健康こども部長

本市では児童数は減少傾向にありますが、共働き世帯の増加や安全な居場所へのニーズの高まりから、放課後児童クラブの利用児童数や利用率は年々増加しており、受け皿が不足しつつあるのが現状です。

保護者の就労要件に関わらず利用でき、経済的負担の少ない居場所に対するニーズもあることから、公共施設の活用も含め、市民ニーズに対応した多様な放課後の居場所づくりについて関係機関と検討を進めているところです。地域の集会所の活用など貴重な御提案も参考にさせていただき、丁寧な説明を行いながら進めてまいりたいと考えております。

【回答】市長

学童保育クラブの定員オーバーの課題については、特に滝沢東小学校や第二小学校のエリアなどで子供たちに我慢をさせてしまっていると認識しております。

今後５年ほどが学童保育需要のピークと見込まれており、そのピークのために新たな箱物施設を建設することは、将来施設を閉鎖する際の判断も含め非常に難しい舵取りとなります。

そのため、地域の皆様の力を借りながら、学校とも協議し、知恵を出し合ってこの大変な時期を乗り越える手法を模索しております。限られた財源の中で他の事業に影響を与えず、少ない金額で最大の効果を出せるよう検討してまいります。

【意見・質問】委員

同じく方針の３点目に関連して質問いたします。他自治体では保育園の給食費無償化に取り組んでいるところも多く見られます。物価高騰が続く中、園としても保護者から集金する給食費を値上げせざるを得ない現状があり、保護者負担が増加しております。滝沢市として給食費の無償化についてどのように考えておられるか伺います。

【回答】健康こども部長

物価高騰に対しては、これまでもおやつ代の補助などその都度必要な支援を行ってまいりましたが、全額無償化という形では進んでいない状況です。今後の動向も見ながら検討していく必要があると認識しております。

【回答】市長

給食費の無償化も住民サービスの一つの施策ではありますが、本市としては令和７年度から「５歳児健診」に早期から取り組んでおります。全国の実施率が１４．１％にとどまる中、本市がいち早く取り組んだことで、発達障害や行動障害の早期発見・早期療育につなげ、小中学校へ進学する際の重要な土台を作ることができております。

子育て世代にお金がかかることは承知しておりますが、今の時代、子供たちが社会の中で抱える課題や育つ上で必要な施策は給食費以外にもあると考えており、周辺市町村とも連携しながら地域全体でこの取組を進めてまいりたいと考えております。

【意見・質問】委員

学童保育に関連して意見を述べさせていただきます。資料２の６ページにある「多様で質の高い育ちの環境の提供」や７ページの予算に関連する部分です。

子供たちの可能性を広げるための多様な居場所づくりということで学童保育以外の居場所を作りだすことも理解できます。しかし、保護者にとっては学校の近くにあり交通安全面でも安心な学童保育に預けたいという切実な思いがあります。

予算枠の中でどちらかを優先すればどちらかが狭まるという捉え方ではなく、双方を拡充していく方向性は考えられないでしょうか。予算面でも子供が安心して暮らせる環境づ

くりへの投資をもう少し手厚く検討していただければと思います。

【回答】健康こども部長

働く親御さんや放課後児童クラブを利用していないお子様も含め、多様な居場所を利用できる体制を作りたいと考えておりますが、学童保育クラブの切実な課題についての御意見も重く受け止め、全体を考える中で重要な御意見として伺ってまいります。

【回答】市長

学童保育の課題については、限られた財源の中でどの政策も着実に進める必要があります。他の事業に歪みが出ないよう、少ない金額で最大の効果を出せるよう知恵を絞り、地域の皆様の御協力も仰ぎながら今後も考えてまいります。

【意見・質問】委員

令和８年度の政策方針書の中で「ＡＩ活用」という言葉が出ています。民間企業では生成ＡＩ等の活用が進んでおりますが、市行政における現在のＡＩ活用状況について伺います。

また、市内には２つの大学が所在することから、行政でのＡＩ活用のモデルケースを大学と協力して作っていくような先駆的な取組も良いのではないかと提案いたします。

【回答】企画総務部長

ＡＩにつきましては、今年度から職員の業務において日常的に活用できるよう環境を整えております。業務の効率化や改善に向け、職員一人ひとりがＡＩ利用の経験を重ね、スキルアップを図っている段階です。また、御提案のありました大学との連携についても、行政の効率化の観点から積極的に検討する必要があると考えております。

【回答】市長

補足いたしますと、本審議会をはじめとする会議の音声認識や文字起こしにつきましてはＡＩを３年前から導入しております。方言や訛りにも上手に対応してくれ、手作業での打ち込みの手間が省け、大変大きな効果を上げております。

【意見・質問】委員

市長方針について何点かお話しさせていただきます。

冒頭にある「街の変化を実感できる成果」について、現在地域にある閉塞感を打ち破るような、一歩深掘りした取り組みを期待しております。

１点目の「市民との対話と住民自治の深化」については非常に重要ですが、現実には自治会をはじめとする末端の組織が縮小･弱体化しております。一部の担当部署だけでなく、全課・全職員が本気で地域に入り、本音の議論を行っていただきたい。

２点目の「持続可能な行政経営」についても、単発の議論で終わらせず、継続して見極

めていく姿勢を行政自ら発信していただきたい。

３点目の「活力ある地域づくり」についても、地域の担い手不足や後継者問題は深刻です。市長の方針が末端まで行き届き、目に見える変化として実感できるよう真剣に取り組んでいただきたい。

【回答】市長

まず「街の変化の実感」についてですが、市役所前の中心拠点開発においてはスーパー「いとく」が県内初出店し、岩手山を望む美しい景観とともに新たな変化が生まれております。今後もこの開発を次の段階へ進めてまいります。

次に「住民自治・地域活動」についてです。本市では交通死亡事故ゼロの記録が４年７か月続きました。毎日約３，８００人の児童生徒が盛岡環状線を利用する中、交通指導員、スクールガード、自治会交通安全部など多くの団体・市民が優しさを持って協力し合った成果です。また、事故が発生した際も即座に登り旗を持って街頭に立ち交通事故予防の啓発に取り組まれるなど、地域活動の根底には高い使命感があると感じております。

また、盛岡大学や岩手県立大学の学生が交通指導員や消防団に参加してくれるなど、若者の力を生かした本市特有の推進方法も生まれております。

さらに「地域づくり・担い手」に関しては、滝沢市単独での生存を目指すのではなく、盛岡市、岩手町、葛巻町、八幡平市、雫石町など盛岡広域で連携して活力を維持していく時代です。その１例として、身体障害者日常用具補助金の補助率・上限額の広域統一化など、周辺自治体と一体となった取組を進めております。

【意見・質問】委員

中心拠点開発については１０年近くかかりここまで形になってきており、今後どのような中心市街地になるのか市民も関心を持っております。目に見える実感ができる形に早期にしていただきたい。

また、消防団に関連して、本市において大学生の協力を得る取組は素晴らしい強みである一方、地域の中心となる担い手を育てる地道な活動も不可欠であると考えます。

【回答】市長

「いとく」の出店により、市内の他のスーパーも店舗の改装や新しいサービスの導入を図るなど良い相乗効果が生まれております。本市市民の地元購買率は約３０％と低い状況にありますが、商業施設の充実や既存店舗の努力により利便性向上につながっております。

また消防団については、盛岡大学の卒業生で市役所の学生アルバイトを経験した方が、地域への恩返しとして消防団に加入し、それをきっかけに同世代や上下の世代が入団するという好事例がございました。学生時代に地域と関わる経験を提供し、愛着を持ってもらう取組を今後も大切に育ててまいりたいと考えております。

【意見・質問】委員

資料２の各政策方針の事業費実績表について質問いたします。１３ページの「新たな担い手育成や持続可能な農林水産業の推進」で令和８年度の予算が前年比で－６５．３％の大幅減となっている点や、１６ページの「上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信」の＋７２．２％の増額、２４ページの「次世代につなげる財政運営」の超過の記載など大幅に変動している数値の背景について説明を求めます。

また、市長方針の説明はありましたが各政策方針に関する説明はされておりません。何か各政策について特別お話したい事項がある場合はそちらもお願いします。

【回答】経済産業部長

１３ページの農業関係の減額につきましては、令和６年度および７年度において「ライスセンター」の建設整備に対する大型補助事業を実施し、本年度完成・稼働に至ったため、減額となったものでございます。

【回答】都市整備部長

１６ページの上下水道事業における変動につきましては、3つあった課を２つに整理し、事業を振り分けた結果として増額となっているものでございます。

令和８年度の政策についてですが都市整備部門では、本年１０月１日から市内の２つのバス路線を統合・再編した「コミュニティバス」の運行を開始することから、運行本数の増加や走行エリアの拡大により市民の交通利便性向上が図られるものと思っております。

【回答】企画総務部長

２４ページの「次世代につなげる財政運営」につきましては、公共施設の維持修繕として、庁舎の修繕にかかる費用を計上しております。昭和５０年代後半に建設された本庁舎に様々な不具合が生じ始めており、実際に業務に支障が出かねない状況にあるため、急遽対応を行うとともに、計画的な保守計画を予算に反映させているところでございます。

【意見・質問】委員

地域福祉に関して、最近報道されました国の法改正による「身寄りのない高齢者への支援」について伺います。独り暮らしの高齢者が急激に増えている中、今後、現場の社会福祉協議会等へ具体的な対応が求められてくると思われますが、市としてどのように対応されるお考えでしょうか。

【回答】福祉部長

身寄りのない高齢者の支援につきましては、令和８年度の重点課題として、重層的支援体制整備事業や地域包括ケアシステムの深化を進めてまいります。様々な経済的・身体的課題が複合的に絡んでいるため、高齢者福祉課だけでなく、必要に応じて生活福祉課や地域福祉課など横断的にケアについて考える会議体を設けて対応していく予定です。

【意見・質問】委員

会議体を設けて話し合いをしていくことは分かりましたが、実際にそれに関わる事業展開をする場合についてはどのようにお考えですか。

【回答】福祉部長

既にそういったケースにも対応しており、必要に応じて庁内連携だけではなく介護事業所や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と一緒に話し合いながら、必要とされるサービスの提供を行っているところでございます。

【進行】会長

他に質問や御意見はありますか。ないようですので、１つ目の議事「令和８年度市長方針及び各政策方針について」を終了いたします。

続きまして２つ目の議事「総合計画後期基本計画策定等にかかる取組について」、事務局から説明をお願いします。

【説明】企画政策課長

資料３「第２次滝沢市総合計画後期基本計画策定に向けた市民検討組織実施計画（案）」に基づき、御説明いたします。

本市では、令和１０年度から令和１３年度を期間とする「後期基本計画」を令和９年度に策定する予定としております。後期基本計画策定に向け、市民目線から目指す状態や進捗を把握する指標案を検討・提言いただく場として「市民検討組織」を設置いたします。

構成員につきましては、令和８年３月２５日に自治会連合会様と締結いたしましたパートナーシップ協定に基づき、市内全３２の単位自治会からそれぞれ１名ずつの御推薦をいただき、計３２名で構成しております。なお、自治会からの推薦により構成員がある程度確保できたことから、今回は構成員の公募は行っておりません。

開催期間は令和８年７月から令和９年３月まで全６回程度を予定しており、第１回オリエンテーション、第２回理解促進、第３回目指す状態の検討、第４回指標設問の見直し、第５回提案取りまとめ、第６回市長・審議会報告という流れで進めてまいります。

令和８年度の成果物としては、後期基本計画が目指す状態や重視すべき視点、アンケート調査項目・指標を整理した「提言書」を取りまとめます。なお、令和１３年度の具体的な「目標値（数値）」の設定につきましては、令和９年度の検討事項といたします。説明は以上です。

【進行】会長

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について御質問、御意見があればお願いします。

【意見・質問】委員

今回配布された資料２では令和７年度の実績数値が「０」になっていましたが、市民検討組織において目指すべき状態や指標を検討する際、令和６年度や７年度の具体的な実績数値やデータがあった方が委員にとって検討しやすいと考えますが、いかがでしょうか。

【回答】説明者

御指摘の通り、今回の資料２ではまだ７年度の実績数値が記載されておりません。議論を進めていく土台として、検討組織の皆様に数値入りの資料をお渡しすることを検討させていただきます。

【意見・質問】副会長

市民検討組織の設置は素晴らしい試みだと思いますが、２点お話させていただきます。１点目は、３２名の委員が公募ではなく自治会からの推薦ということで、ジェンダーや年齢のバランスなど、滝沢市民の代表性がどれくらい担保できているのか伺います。

２点目は、委員の役割についてです。単位自治会の代表として参加するのか、一市民の目線で自由に発言してよいのか、自分の役割を認識して議論に臨めるよう、第１回会議の冒頭で丁寧なオリエンテーションを行っていただきたいと思います。

【回答】説明者

代表性につきましては、自治会からの御推薦のみではすべての世代や属性を網羅できるものではないと認識しております。平日の日中開催ということで子育て世代の参加が難しいという声もいただいております。そのため、本検討組織での議論に加え、若い世代や自治会未加入の方々の意見も広く把握するため、幸福実感アンケートや「市長と語ろう」など複数の方法で意見聴取を行っていく予定です。

また委員の役割・立場につきましては、初回会議において丁寧に御説明し、前提を共有してまいります。

【意見・質問】副会長

役割整理について承知いたしました。代表性に関しても、パブリックコメントなどの従来の市民意見聴取に加えて、策定の前期段階でこうした市民対話の場を持てることは非常に素晴らしいことですので、ぜひ効果的に進めていただきたいと思います。

【回答】企画政策課長

市民検討組織は、令和９年度に後期基本計画を策定するにあたり、地域の皆さんと意見を交わし現状を話し合う場として設けております。ここでの意見を聞きながら素案に結びつけ、９年度の策定段階ではパブリックコメントも実施していく流れとなっております。

【進行】会長

他に御意見等はありますか。ないようですので、２つ目の議事「総合計画後期基本計画

策定等にかかる取組について」を終了いたします。

本日予定していた議事は以上となります。事務局に進行をお返しします。

【進行】企画政策課長

丸山会長、円滑な議事進行をありがとうございました。

最後に「その他」になりますが、皆様からなにかございますでしょうか。

無いようですので事務局から１点御連絡させていただきます。机上に配付いたしました右上に「その他」と記載のある資料「令和８年度滝沢市総合計画審議会開催予定」を御覧ください。

今年度の本審議会につきましては、本日と１１月から１２月頃にかけて１回、そして年明け３月に１回の計３回の開催を予定しております。委員の皆様には具体的な日時や会場等の詳細が固まり次第改めて書面にて御案内申し上げます。

それでは以上をもちまして、令和８年度第１回滝沢市総合計画審議会を閉会いたします。

本日は長時間の御審議ありがとうございました。